

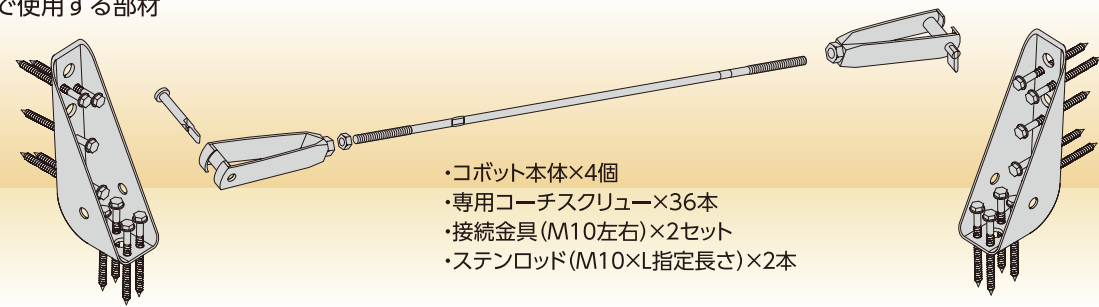
→ **KSコボット接合補強システムにブレースを加えることで、壁面を補強することができる最適補強システム。**



壁用ステンブレースの代表的な施工例



壁一面で使用する部材



- ・コボット本体×4個
- ・専用コーチスクリュー×36本
- ・接続金具 (M10左右)×2セット
- ・ステンロッド (M10×L指定長さ)×2本

**特長**

- 壁用M10ステンロッド (筋かい部分) はターンバックル式になっているため、微妙な建ち修正も容易です。
- 新築、リフォームなど使用方法は自由自在。特にリフォームは壁をすべて剥がす必要もなく、作業性が大幅にアップします。
- オールステンレス製だから、意匠使いにも最適です。開口部分を耐力壁にもできます。

**試験データ** 面内せん断試験 (壁倍率試験データ)

試験場所	日本住宅・木材技術センター	
柱芯々距離	半間 910mm	一間 1,820mm
壁倍率	2.7倍	3.3倍
壁基準耐力	5.46kN/m	6.52kN/m

国土交通大臣認定取得

認定番号	FRM-0256	FRM-0257
------	----------	----------

●専用コーチ 9本留め、M10ステンロッドたすき掛け

**KSコボットステンブレースシステム〈壁用〉**

	コボットステンブレースセット	ステンロッド (M10×L指定長さ <sup>※1</sup> )
品番	1551120	—
梱包内容	・コボット本体×4個 ・専用コーチスクリュー (M6×85)×37本 <sup>※2</sup> ・接続金具 (M10左右)×2セット	ステンロッド (M10×L指定長さ)×2本
梱包質量	3.2kg	—

※1 ステンロッドサイズ対応表を参照の上、ご指定長さをお知らせください。  
 ※2 取り付けに必要な本数は36本です。1本は予備です。  
 ★ご注文・お見積りの際はP.136のKSコボット専用FAX用紙をコピーしてご使用ください。

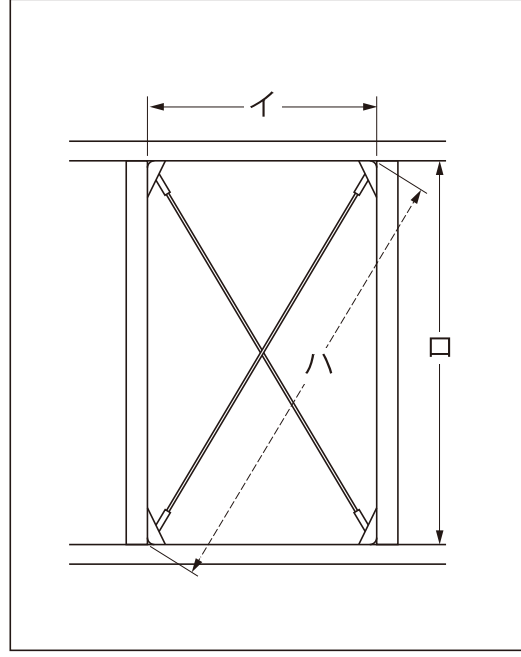
**ステンロッドサイズ対応表**

- 柱間の内々寸法「イ」を確認します。
- 土台天端から梁下までの寸法「ロ」を確認します。
- 対角寸法「ハ」を算出します。  $ハ = \sqrt{イ^2 + ロ^2}$
- 対角寸法「ハ」を表の土台・柱・梁の内々有効対角実寸範囲に当てはめ、対応できるステンロッドサイズを選定してください。

土台・柱・梁の内々有効対角実寸範囲「ハ」	対応できるステンロッド
1,800~1,899mm	M10×1,600mm
1,900~1,999mm	M10×1,700mm
2,000~2,099mm	M10×1,800mm
2,100~2,199mm	M10×1,900mm
2,200~2,299mm	M10×2,000mm
2,300~2,399mm	M10×2,100mm
2,400~2,499mm	M10×2,200mm
2,500~2,599mm	M10×2,300mm
2,600~2,699mm	M10×2,400mm
2,700~2,799mm	M10×2,500mm
2,800~2,899mm	M10×2,600mm
2,900~2,999mm	M10×2,700mm
3,000~3,099mm	M10×2,800mm
3,100~3,199mm	M10×2,900mm
3,200~3,299mm	M10×3,000mm
3,300~3,399mm	M10×3,100mm
3,400~3,499mm	M10×3,200mm

※上記以外の長さのステンロッドも製作可能です。(基本100mmピッチ)  
 ※ステンロッドは4mまでは一本もので製作可能です。

■壁面 概念図



**KS コボットステンブレースシステム〈壁用〉採用事例**

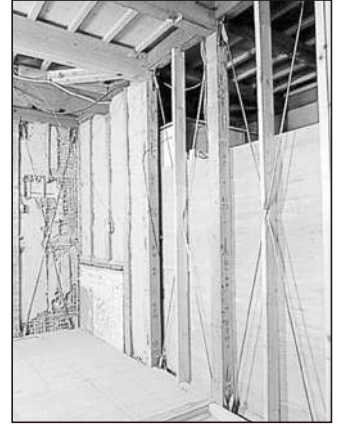
■意匠使用例



■リフォーム使用例



土壁の内側のみを剥がしてステンブレースシステムで補強。



新たに耐力壁を追加。



土壁をほぼ残した状態で補強。